

患者管理データベース

ウィステリア Pro ver.6.0

ユーザーズガイド

for Macintosh & Windows

The Japan Health Care Dental Association
一般社団 日本ヘルスケア歯科学会

はじめに

う蝕や歯周病のリスク管理を行うためには，患者さん自身の個別のリスクを患者さんに分かりやすく示すことが必要になります．検査で得た情報を蓄積することができれば，リスクの変化を評価できます．口腔内写真を必要なときに即座に見せることは，動機付けとインフォームドコンセントに重要な役割を果たします．また，このようなデータを使うことにより，歯科衛生士がチェアサイドで行う情報提供，患者指導は格段に重みを増すでしょう．さらにこの情報をコンピュータで管理すれば，診療室の来院患者の全体像やリスク管理の成果を把握することができます．そこから診療の問題点を分析するすることも可能です．

日本ヘルスケア歯科学会は，その前身の研究会発足時から，カリエスリスク検査を活用して予防ケアとメインテナンスケアを重視することを特徴としてきました．ウィステリアは，そのためのツールとして開発されたと言っても過言ではありません．そのためファイルメーカー・テンプレートとして開発されたウィステリアは，患者基本情報のほかカリエスリスク検査結果とそのレーダーチャート表示，歯周組織検査結果の管理，口腔内写真の管理と表示を基本仕様としてきました．そして個々の診療室の診療情報のデータベースを構築し活用するために，来院履歴，処置履歴，抜歯履歴，歯周病データの管理・活用のためのペリオアシスタント，アポイント管理職との連携，そして多様な検索・集計機能を追加してきました．

ウィステリアは，D. Bratthall の考案した「カリオグラム®」の検査項目をレーダーチャートに表示することを特徴としてきましたが，新しいバージョンでは，本学会の標準的なカリエスリスク・アセスメントの形式となったCRASPがメインになります．

©Shozo Fujiki 2021 All rights reserved. Production: Editorial House Aki Ltd.
本カスタム App およびマニュアルの著作権は一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会に帰属します．本学会の許可なく，本カスタム App およびマニュアルの一部または全部を，いかなる方法においても複写・複製・翻訳することは，国内および海外において禁じられています．製品およびマニュアル・サンプルファイル等に登場する住所・氏名などのデータはすべて架空のものです．マニュアル内の画像は開発中のものを含みます．
Claris，FileMaker，ファイルメーカー，FileMaker Cloud，FileMaker Go，FileMaker WebDirect およびファイルフォルダロゴは，Claris International Inc. の米国およびまたはその他の国における登録商標です．クラリス，Claris Connect，Claris ロゴ，FileMaker Pro および FileMaker Server は，Claris International Inc. の商標です．その他のすべての商標は該当する所有者の財産です．

The Japan Health Care Dental Association
一般社団日本ヘルスケア歯科学会
東京都文京区関口 1 丁目 45-15　日火江戸川橋ビル第 1-104
Tel. 03-5227-3716　Fax. 03-3260-4906　〒112-0014
Web　http://www.healthcare.gr.jp
e-mail　center@healthcare.gr.jp

210720　0730　0817　1119

ウィステリア Ver.6 の開発にあたって

日本ヘルスケア歯科研究会の時代に開発された患者情報管理データベース「ウィステリア」の Ver.6 をリリースできることになりました．最初のカード型データベースからリレーション型になり，画像管理，来院履歴やアポイント管理などその時代に必要と思われる機能を追加してきました．

日本だけでなく，世界でもこのような患者情報を総合的に記録し検証できるソフトは少ないと思います．20 年以上にわたって続けてこられたことを誇りに思います．

今回の Ver.6 では，当会が開発したカリエスリスク・アセスメントである CRASP，定期管理において歯科医師とスタッフの情報共有に欠かせないサブカルテ，今後さらに重要と思われる口腔機能に関しても記録できるようになりました．時代を先取りしてきた精神は健在です．

このソフトがさらに多くの会員に活用され，患者のメインテナンスの助けになればと願っています．さらに，10 年，20 年後にこのソフトでなければわからなかったような検証ができるようになれば幸いです．

ウィステリア開発チーム代表：藤木省三

◆ ウィステリア制作履歴

《ウィステリア》は，熊谷 崇さんはじめ日吉歯科診療所スタッフの長年のノウハウの蓄積・試行錯誤の上に，ソフト面の開発を藤木省三が行い，菅野 宏さんと岡 賢二さんが協力して完成したものです．
《ウィステリア Photo》の制作に際しましては，とくに会員の田中 武さん，西村吉行さん，菅原泰典さんから貴重なアイディアと助言をいただきました．
《ウィステリア》を市販品にするための作業（1999 年 9 月 1 日）は，秋編集事務所の大宮早苗および藤木省三が行い，マニュアルの製作は研究会事務局の小野文江が担当いたしました．
《ウィステリア Photo ver.2.2》は Windows 環境でもウィステリア Photo を使いたいという希望に応じ開発されました（2002 年 7 月 1 日）．さらに唾液分泌抑制薬剤の服用の有無，全身疾患のチェック，BML 社の唾液検査データの入力項目追加，う蝕と歯周病のレーダーチャートの並列表示，歯周病の進行度あるいはプロービング値の年齢別集計などの機能も追加されています．
《ウィステリア Pro ver.3.0》は，歯周病の検査データをすべて蓄積するための PerioAssistant 機能，来院履歴，処置履歴，抜歯履歴，唾液量ファイルなどさまざまなデータが蓄積可能になりました．集計機能も充実し，より広い活用ができます．また《アポイント管理職》との連携も強化されました（2004 年 3 月 1 日）．このバージョンアップは，IT 部会；藤木省三，杉山精一が行い，マニュアルの製作は秋編集事務所の岡田里美および藤木省三が担当いたしました．
《ウィステリア Pro ver.3.1》(2005 年 11 月 1 日）は，ファイルメーカー™ Pro 7.0 に対応したものです．
《ウィステリア Pro ver.3.1.1》(2006 年 4 月 26 日）は，PerioAssistant の入力を 6 点に変更したものです．
《ウィステリア Pro ver.4.0》(2009 年 6 月 1 日）は，写真取り込みの回数制限をなくし，取り込み時の画像の反転や，エックス線の取り込みなど，機能の充実を図りました．WindowsVista，IntelMac に対応しました．
《ウィステリア Pro ver.5.0》(2015 年 1 月 23 日）は，外部プラグインなしで画像取り込み可能にしました．メモ欄・ICDAS・XR 入力などの充実を図り，iPad（FikeMaker Go）での表示を可能にしました．Windows7/8，MacOS10.9，iOS8 に対応．このバージョンアップの制作（主に Windows 画像関連）に際しましては，森 一弘氏（アクセス代表）にご協力いただきました．
《ウィステリア Pro ver.6.0》(2021 年 7 月 20 日）は，CRASP の入力，歯式入力の統一，販売品管理，口腔機能管理，iPad を活用した問診票，サブカルテなど新しい機能を加え，旧バージョンと分かれていた写真表示も統一されました．

◆ パッケージ内容

・《ウィステリアPro ver.6.0》と書かれた USB メモリ　1 個
・ユーザーズマニュアル（PDF ファイルで USB メモリに収録）
・ユーザー登録カード・FAX シート（PDF ファイルで USB メモリに収録）
※PDF のマニュアルをご覧いただくためには Adobe Acrobat Reader DC が必要です．Adobe社より無料でダウンロードできます．

◆ 著作権・使用権についてのご注意

・《ウィステリアPro6.0》および〈患者管理データベース《ウィステリアPro6.0》について〉の著作権は，一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会に帰属します．このカスタム App は藤木省三によって，ファイルメーカー ™ Pro 5.0（日本語版）で制作されたものを FileMaker Pro 15-19 および FileMaker Go 15-19 に対応させたものです．
・《ウィステリアPro 6.0》は，一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会の会員で，本カスタム App を購入した者にのみ使用権が発生します．
・使用権者は本カスタム App，各素材を自由に加工して使用することができます．
・使用権者であっても，賃貸目的に使用することはできません．
・使用権者であっても，コピーして第三者に販売や譲渡することはできません．

◆ 保証の限定についてのご注意

《ウィステリアPro6.0》は使用者本人の責任において使用されるものとします．本製品を使用したことにより発生した，または本製品を使用できないことにより発生した損害や不利益については，本会は一切責任を負いません．本製品の内容や記載事項は，将来予告なしに日本ヘルスケア歯科学会によって変更される場合があります．

◆ 《ウィステリア Pro》のお問い合わせ

USB に同梱の FAX シート（PDF）をご利用いただき，ユーザー登録番号を明記のうえ，FAX にて本会事務局宛までお願いします．電話でのお問い合わせはご遠慮ください．e-mail でも FAX シートの内容を明記いただければ問い合わせを受け付けます．なお，FileMaker Pro や FileMaker Go についてのお問い合わせにはお答えしかねます．

◆ LAN 環境でのご使用について

LAN 環境でご使用になる場合は，使用するコンピューターの台数分の FileMaker Pro をライセンスが必要です．複数ライセンスの購入については，クラリス社のホームページ，サポートセンターなどでご確認ください．
大規模な LAN 環境でご使用になる場合には，FileMaker Server の導入をおすすめします．
LAN 構築についてのサポートは致しておりません．市販のマニュアル等をご参照いただくか，または専門業者にご相談ください．

◆ 《ウィステリア Pro6.0》のバックアップについて

FileMaker Pro はファイルに対する操作を行うと，変更内容が自動保存されます．そのためレコードを削除・変更すると元に戻せません．予めバックアップをお取りください．また，ファイル名の書き換えはしないでください．「リレーション」されなくなり，正しく機能しなくなります．
※「ファイル」→「別名で保存」→「データなしのコピー」はしないでください．正しく表示されなくなります．

◆ アカウントとアクセス権について

FileMaker Pro には，「アカウントとアクセス権セット」によりデータベースを不正アクセス等から保護する機能があります．初期設定では［Admin］アカウント（完全アクセス）と［ゲスト］アカウント（閲覧のみアクセス）があり，パスワードは入力されていません．データベースを保護するためにパスワードを設定することをおすすめいたします．

アクセス権セットはそのファイルに対する操作（レコードの作成，削除，レイアウトや値一覧の編集など）を許可するものです．

アカウントおよびアクセス権の詳細は FileMaker Pro に添付のマニュアル（ユーザーズガイド）をご一読ください．

㊟ 《ウィステリアPro3.0》には初期設定で仮パスワードがありましたが，ファイルメーカーPro7.0 より設定方法がより詳細になりましたので，仮パスワードの設定は行っておりません．ご自身の使用環境にあわせて設定を行ってください．

◆ 《ウィステリア Pro》にアカウントとパスワードを設定するには

《ウィステリアPro6.0》フォルダ内のすべてのファイルにパスワードを設定します．ファイルによってパスワードが異なったり，設定されていないと，最初に開くときにパスワードを求めるダイアログが開きます．

また，LAN 環境で使用する場合，クライアントから開く際にもアカウントとパスワードを求められます．

アカウント名，パスワードを紛失するとそのデータベースを開くことができなくなります．パスワード等のお取り扱いにはご注意ください．

◆ FileMaker Pro について

FileMaker Pro に関するお問い合わせは，Claris 社へお願いします．

https://www.claris.com/ja/

《ウィステリアPro6.0》を正しく使用するためには，以下の動作環境を整備する必要があります．必要なハードウエアおよびソフトウエアをご自分で揃えてください．使用方法はそれぞれのマニュアルでご確認ください．

《ウィステリア Pro6.0》の動作環境

必要なハードウエアの環境

・コンピュータ本体：FileMaker Pro 15-19（日本語版）が稼働する CPU を搭載している Windows 機
・RAM およびハードディスクの空き容量：FileMaker Pro 15-19 の動作環境を参照
・表示画面：1920×1080 ピクセル以上
・iPad：FileMaker Go15-19 が稼働する iOSを搭載した iPad

必要なソフトウエア

・基本 OS：Windows 8.1，Windows 10（日本語版）
・基本アプリケーション：FileMaker Pro 15-19（日本語版），FileMaker Go 15-19
　㊟ 本カスタム App は FileMaker Pro 18 で制作されています．
・写真取込時に反転をする場合は，「ImageMagick®」（画像を操作・表示したりするためのソフトウェアスイート）をインストールする必要があります．「ImageMagick-7.1.0-0-Q16-x64-dll.exe」（2021 年 6 月現在 64bit 最新版）をダウンロードしてインストールしてください．旧バージョンは使用できません（アンインストールしてください）．
　　ダウンロード先：https://imagemagick.org/script/download.php#windows

《ウィステリア Pro6.0》のインストール方法

《ウィステリアPro6.0》のインストールは，次の手順で行ってください．

1. Windows を起動します．
2. 『ウィステリアPro ver.6.0』とかかれた USB メモリをパソコンの USB にセットします．
3. USB メモリが認識されると内容が表示されます（開かない場合はPC（コンピュータ）よりリムーバブルディスク“WISTARIA60“をクリックして開いてください）．
　㊟ アポイント管理職 4.0 をご購入の場合は，“WIS60APP40”と表示されます．
4. “ウィステリアPro60”のフォルダにポインタを合わせて反転させてください．
　メニューバーの「編集」→「コピー」をクリックします．
　“ウィステリアPro60”を保存したいハードディスク（例えばC ドライブ）を選び，クリックします．
　「編集」→「貼り付け」をクリックします．
　㊟ 必ずお使いのハードディスクにコピーしてお使いください．またコピーしたフォルダは書き込み禁止になっている場合があります．「プロパティ」から読み取り専用のチェックをはずしてご使用ください．
5. ハードディスクにコピーした“ウィステリアPro60”のフォルダをダブルクリックします．フォルダが開くと下記のファイルが表示されます．（ご使用の環境設定によっては拡張子は表示されません）

・ウィステリアPhoto60.fmp12　・チャート 2.fmp12　・来院履歴 6.fmp12　・PerioAssistant6.fmp12
・処置履歴 6.fmp12　・抜歯履歴 6.fmp12　・唾液量 6.fmp12　・PerioColor_all.fmp12
・XRAssistant6.fmp12　・PhotoV.fmp12　・PhotoVx.fmp12　・郵便番号簿.fmp12
・DietaryCounsellingA.fmp12　・DietaryCounsellingB.fmp12（食事指導ソフト；付録）

・CRASPVer1.fmp12　・NonFPaste.fmp12　・問診票.fmp12　・サブカルテ.fmp12
・販売品管理.fmp12　・患者情報.fmp12　・口腔機能 1.fmp12　・口腔機能情報提供書.fmp12
・Teeth.fmp12
追加されたファイル

・開始.fmp12（FileMaker server をご使用の場合は不要．**削除**してください）
・アポイント管理職 40.fmp12　・PersonColor.fmp12（この 2 点はアポイント管理職をご購入済みの方のみ）

“NewFile” “OriginalFile”作成

「ファイル」→「開く」から“ウィステリアPhoto60.fmp12”もしくは“開始.fmp12”を開きます.

① メニュー画面にある［初期設定画面へ］をクリックします.

② 初期設定画面が開きますので，システムHDD名設定 ボタンをクリックします.

③ 画像を保存するハードディスク名を入力し，［OK］をクリックします.

④ 〈システム HDD 名設定〉の横枠内にご使用のハードディスク名が表示されます.

このとき，ハードディスク内に“NewFile”“Original-File”の 2 つのフォルダが自動的につくられます.

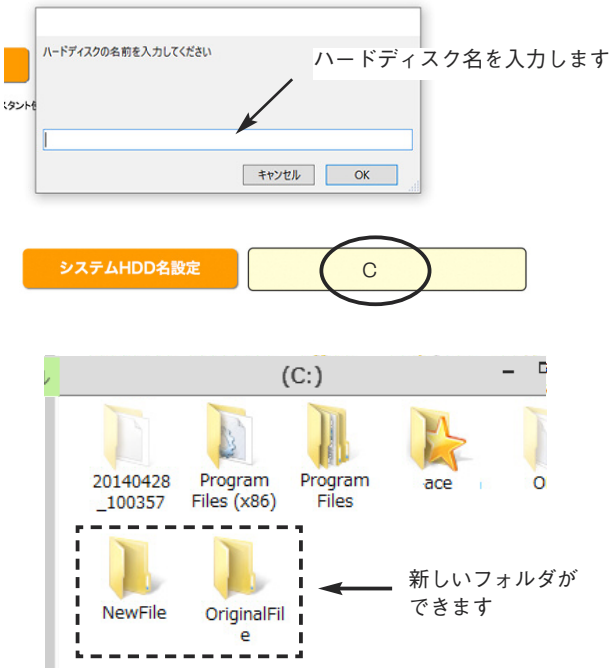
これらは写真データを管理するために必要なフォルダです.

注 LAN 環境でご使用になる場合，〈システム HDD 名設定〉にはネットワークドライブ文字（W など）を入力します．あらかじめ割り当て設定が必要です.

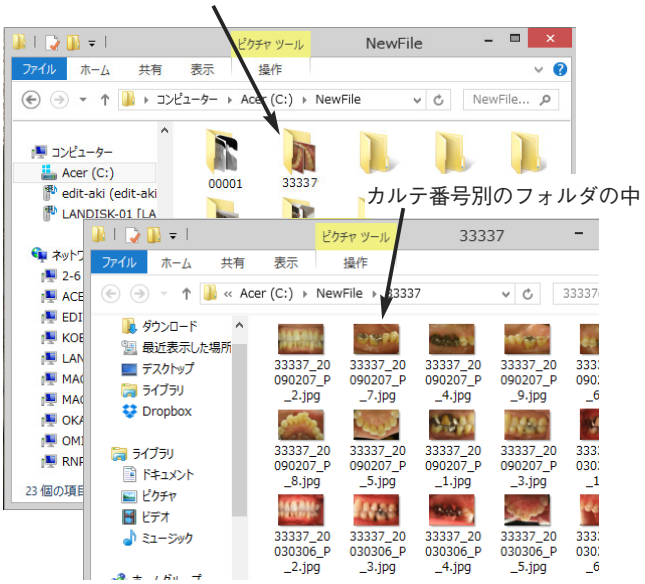
“OriginalFile”は《ウィステリアPro6.0》に取り込みたい写真データを入れるフォルダです．このフォルダにはご自分で写真データをコピーします.

“NewFile”は《ウィステリアPro5.0》に取り込まれた写真データが納められるフォルダです.

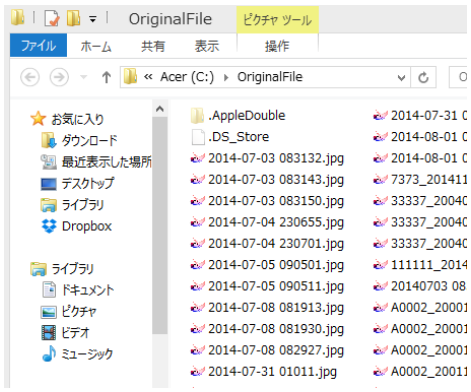
《ウィステリアPro6.0》上で写真データの取り込み操作を行うと“OriginalFile”の写真データを取り込み，カルテ番号のフォルダが作成され，該当するそれらの写真データはファイル名が自動的にカルテ番号を接頭に付したファイル名に書き換えられ，“NewFile”に移動します.



はじめてその患者さんの写真を取り込むと，カルテ番号別のフォルダが作成されます.



取り込みたい写真データを入れるフォルダ



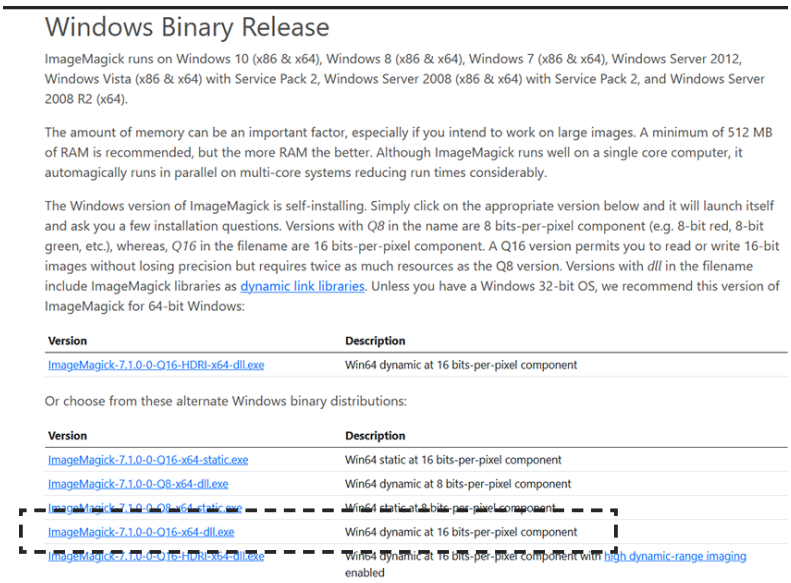
注 “NewFile”“OriginalFile”は必ず同じハードディスクにおいてください．ハードディスクが異なるとデータを取り込むことができません.

ImageMagick®のインストール

Windows で画像取り込み時に上下・左右反転させるために必要なソフトウェアスイートです.

https://imagemagick.org/script/download.php#windows よりご使用の環境にあわせてダウンロードしてインストールしてください.「ImageMagick-7.1.0-0-Q16-x64-dll.exe」64bit 版です（2021 年 6 月現在最新）.

注 ご使用の環境によっては反転・回転しない場合があります.



Windows Binary Release

ImageMagick runs on Windows 10 (x86 & x64), Windows 8 (x86 & x64), Windows 7 (x86 & x64), Windows Server 2012, Windows Vista (x86 & x64) with Service Pack 2, Windows Server 2008 (x86 & x64) with Service Pack 2, and Windows Server 2008 R2 (x64).

The amount of memory can be an important factor, especially if you intend to work on large images. A minimum of 512 MB of RAM is recommended, but the more RAM the better. Although ImageMagick runs well on a single core computer, it automagically runs in parallel on multi-core systems reducing run times considerably.

The Windows version of ImageMagick is self-installing. Simply click on the appropriate version below and it will launch itself and ask you a few installation questions. Versions with *Q8* in the name are 8 bits-per-pixel component (e.g. 8-bit red, 8-bit green, etc.), whereas, *Q16* in the filename are 16 bits-per-pixel component. A Q16 version permits you to read or write 16-bit images without losing precision but requires twice as much resources as the Q8 version. Versions with *dll* in the filename include ImageMagick libraries as dynamic link libraries. Unless you have a Windows 32-bit OS, we recommend this version of ImageMagick for 64-bit Windows:

Version	Description
ImageMagick-7.1.0-0-Q16-HDRI-x64-dll.exe	Win64 dynamic at 16 bits-per-pixel component

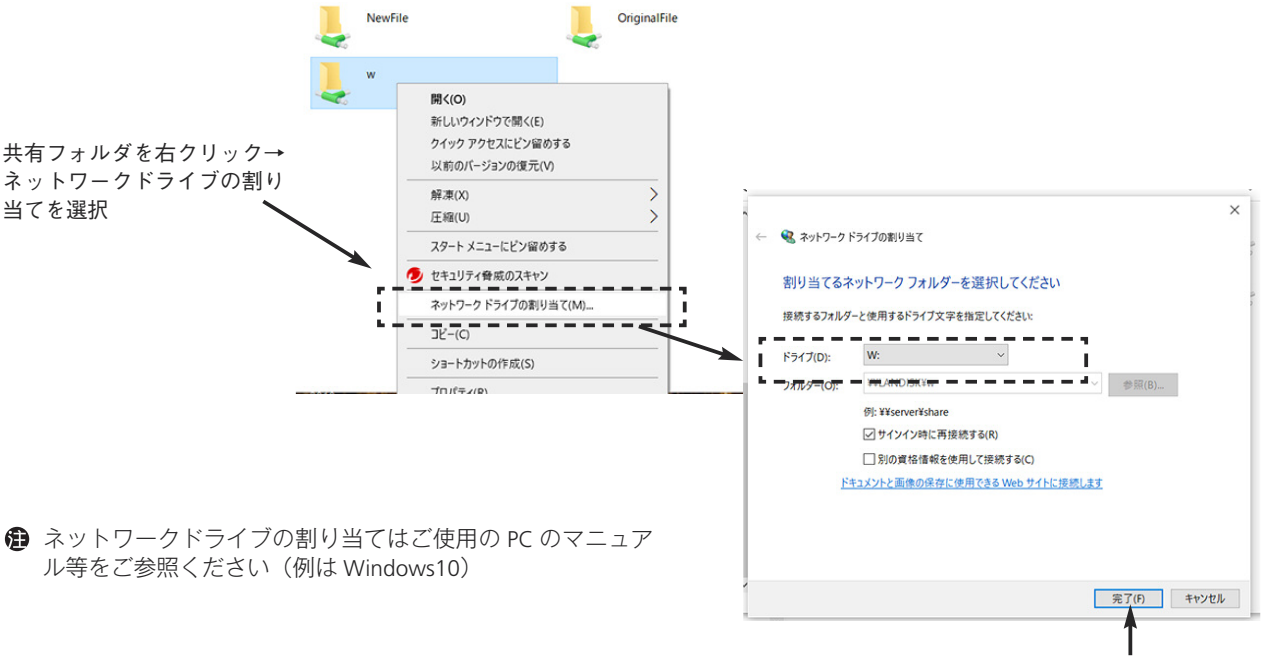
Or choose from these alternate Windows binary distributions:

Version	Description
ImageMagick-7.1.0-0-Q16-x64-static.exe	Win64 static at 16 bits-per-pixel component
ImageMagick-7.1.0-0-Q8-x64-dll.exe	Win64 dynamic at 8 bits-per-pixel component
ImageMagick-7.1.0-0-Q8-x64-static.exe	Win64 static at 8 bits-per-pixel component
ImageMagick-7.1.0-0-Q16-x64-dll.exe	Win64 dynamic at 16 bits-per-pixel component
ImageMagick-7.1.0-0-Q16-HDRI-x64-dll.exe	Win64 dynamic at 16 bits-per-pixel component with high dynamic-range imaging enabled

LAN 環境での画像共有（ネットワークドライブの割り当て）

LAN 環境にて画像を共有する場合は，共有フォルダにネットワークドライブ文字（W）を割り当ててください（「W:」を推奨）．共有フォルダ（画像保存先）は NAS（ネットワーク接続ハードディスク）を推奨.

ドライブ文字をドロップダウンから選択→「サインイン時に再接続する」にチェックを入れて［完了］をクリックします.



注 ネットワークドライブの割り当てはご使用の PC のマニュアル等をご参照ください（例は Windows10）

《ウィステリアPro6.0》を正しく使用するためには，以下の動作環境を整備する必要があります．必要なハードウエアおよびソフトウエアをご自分で揃えてください．各ソフトウエアの使用方法はそれぞれのマニュアルでご確認ください．

《ウィステリア Pro6.0》の動作環境

必要なハードウエアの環境

・コンピュータ本体：FileMaker Pro 15-19（日本語版）が稼働する CPU を搭載している Macintosh 機
・RAM およびハードディスクの空き容量：FileMaker Pro 15-19 の動作環境を参照
・表示画面：1920×1080 ピクセル以上
・iPad：FileMaker Go15-19 が稼働する iOSを搭載した iPad

必要なソフトウエア

・基本 OS：FileMakerPro15-19 が稼働する MacOS（日本語版）に準ず（FileMaker Pro19 は 10.14 以上）
・基本アプリケーション：FileMaker Pro15-19（日本語版），FileMaker Go15-19

㊟ 本カスタム App は FileMaker Pro 18 で制作されています．

《ウィステリア Pro6.0》インストール方法

《ウィステリアPro6.0》のインストールは，次の手順で行ってください．

1. Macintosh を起動します．
2. 『ウィステリアPro ver.6.0』とかかれた USB メモリを Mac の USB にセットします．
3. デスクトップに“WISTARIA60“と表示された USB メモリがマウントされます．（Finder 環境設定でデスクトップに表示させる項目の外部ディスクにチェックを入れてください）．
   ㊟ アポイント管理職 4.0 をご購入の場合は，“WIS60APP40”と表示されます．
4. “ウィステリアPro60”を保存したいハードディスク上の場所（階層）に“ウィステリアPro60”フォルダごとコピーします（但し，デスクトップは除く）．必ずお使いのハードディスクにコピーしてお使いください．
   ㊟ MacOSによっては Macintosh HD 直下にはコピーできません．
5. ハードディスクにコピーした“ウィステリアPro60”のフォルダをダブルクリックします．フォルダが開くと下記のファイルが表示されます．（ご使用の環境設定によっては拡張子は表示されません）

・ウィステリアPhoto60.fmp12　・チャート 2.fmp12　・来院履歴 6.fmp12　・PerioAssistant6.fmp12
・処置履歴 6.fmp12　・抜歯履歴 6.fmp12　・唾液量 6.fmp12　・PerioColor_all.fmp12
・XRAssistant6.fmp12　・PhotoV.fmp12　・PhotoVx.fmp12　・郵便番号簿.fmp12
・DietaryCounsellingA.fmp12　・DietaryCounsellingB.fmp12（食事指導ソフト；付録）

・CRASPVer1.fmp12　・NonFPaste.fmp12　・問診票.fmp12　・サブカルテ.fmp12
・販売品管理.fmp12　・患者情報.fmp12　・口腔機能 1.fmp12　・口腔機能情報提供書.fmp12
・Teeth.fmp12　・追加されたファイル

・開始.fmp12（FileMaker server をご使用の場合は不要．**削除**してください）
・アポイント管理職 40.fmp12　・PersonColor.fmp12（この 2 点はアポイント管理職をご購入済みの方のみ）

“NewFile”“OriginalFile”作成

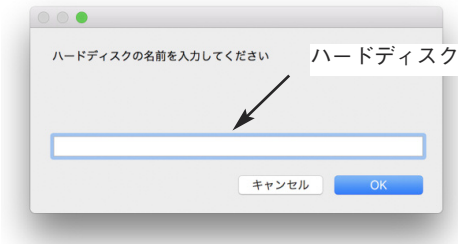
「ファイル」→「開く」から“ウィステリアPhoto60.fmp12”もしくは“開始.fmp12”を開きます.

① メニュー画面にある［初期設定画面へ］をクリックします.

② 初期設定画面が開きますので，システムHDD名設定 ボタンをクリックします.

③ 画像を保存するハードディスク名を入力し，［OK］をクリックします.

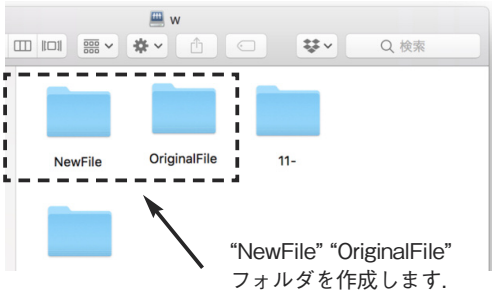
④ 〈システム HDD 名設定〉の横枠内にご使用のハードディスク名が表示されます.





MacOSでは“NewFile”“OriginalFile”の 2 つのフォルダを作成できません．入力した保存先に“NewFile”と“OriginalFile”を作成します．USB メモリに空のフォルダが入っていますので，コピーしてください.（バージョンアップの場合で既にこのフォルダがある場合は作成不要です）

これらは写真データを管理するために必要なフォルダです.

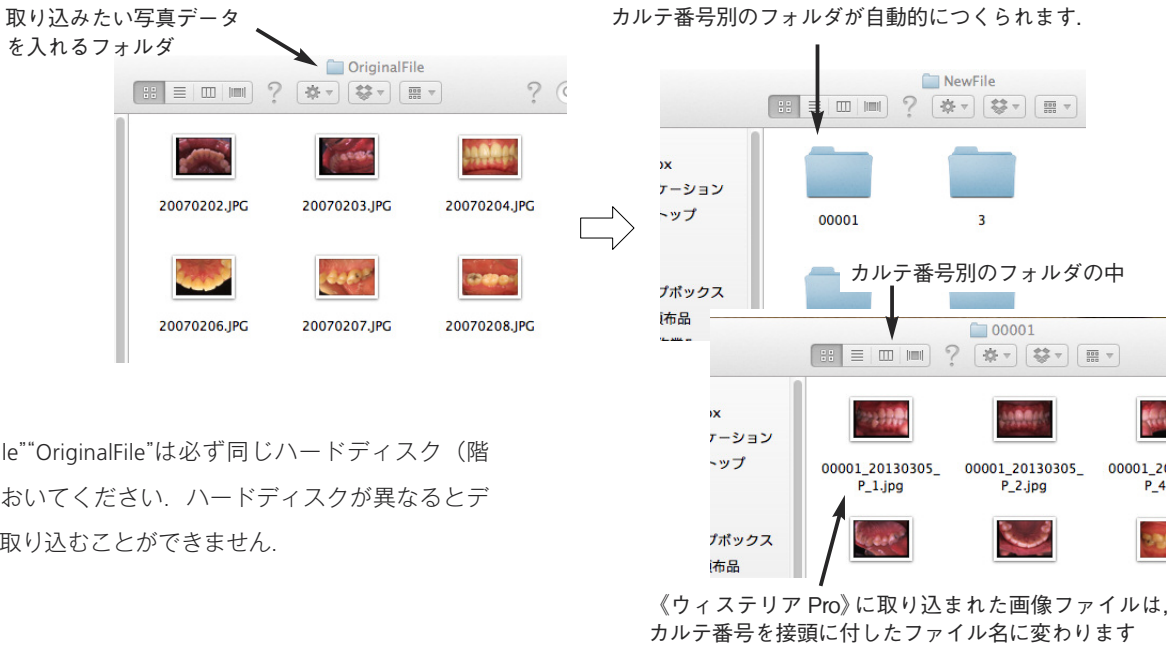


注 MacOS10.15 以上では起動ディスク（Macintosh HD）直下にフォルダを作成できません．ハードディスクを分割するか NAS（ネットワークディスク）を推奨します.

“OriginalFile”は《ウィステリアPro6.0》に取り込みたい写真データを入れるフォルダです．このフォルダにはご自分で写真データをコピーします.

“NewFile”は《ウィステリアPro6.0》に取り込まれた写真データが納められるフォルダです.

《ウィステリアPro6.0》上で写真データの取り込み操作を行うと“OriginalFile”の写真データを取り込み，カルテ番号のフォルダが作成され，該当するそれらの写真データはファイル名が自動的にカルテ番号を接頭に付したファイル名に書き換えられ，“NewFile”に移動します.



注 “NewFile”“OriginalFile”は必ず同じハードディスク（階層）においてください．ハードディスクが異なるとデータを取り込むことができません.

LAN 環境での画像共有

LAN 環境にて画像を共有する場合は，「システム HDD 名設定」で入力した共有ボリューム（例：w）をあらかじめマウントしてご使用ください．起動時に自動でマウントされることをおすすめします．（システム環境設定→ユーザーとグループのログイン項目に追加）

写真取り込み時に共有ボリュームがマウントされていないと，「NewFileが見つかりません」とエラーダイアログが表示されます．ご注意ください．

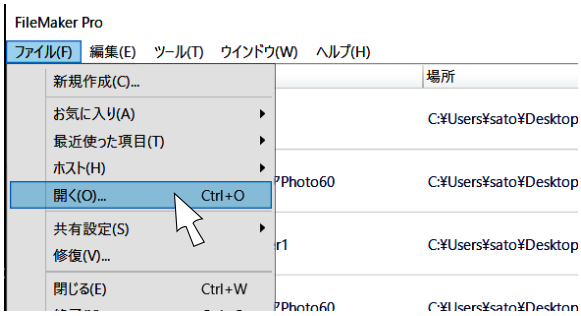
ホストの PC で《ウィステリア Pro6.0》をすべて開く（FileMakerPro でホスティングする場合）

LAN 環境で，ウィステリアを共有するには，ホストのマシンで《ウィステリアPro60》フォルダ内のファイルをすべて開いておく必要があります（アポイント管理職をご使用の場合はフォルダ名《wis60app40》です．以下読み替えてください）．

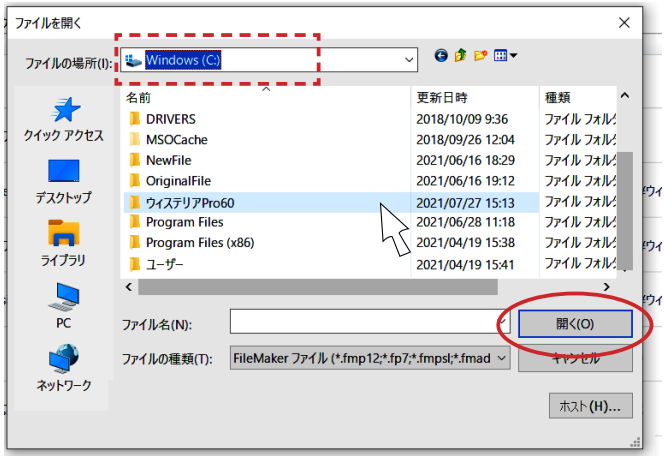
《ウィステリアPro60》フォルダには「開始.fmp12」ファイルが入っています，このファイルを開くとフォルダ内のすべてのファイルが開き，ウィステリアが表示されます（ウィステリア以外のファイルは非表示状態で開きます）．例では Windows で説明していますが，Macintosh も同様です．

《開始.fmp12》の使いかた

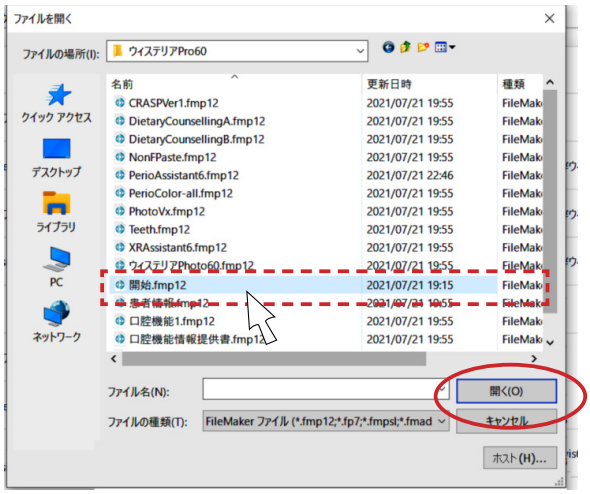
FileMaker を起動し，「ファイル」→「開く」をクリック



インストール時に C ドライブに《ウィステリアPro60》を入れた場合は，C ドライブの中の《ウィステリアPro60》を選択して［開く］をクリック．



《ウィステリアPro60》フォルダの中の「開始.fmp12」を選択して開きます．ウィステリアが表示されると，そのときにはすべてのファイルも開いています．「開始」ファイルは［閉じる］ボタンで閉じてください．



※この「開始」ファイルのショートカット（エイリアス）を作成して**ホストにのみ**，デスクトップに置くことができます（クライアントにショートカットは作成できません）．ショートカットのダブルクリックで，開くことができるようになります．

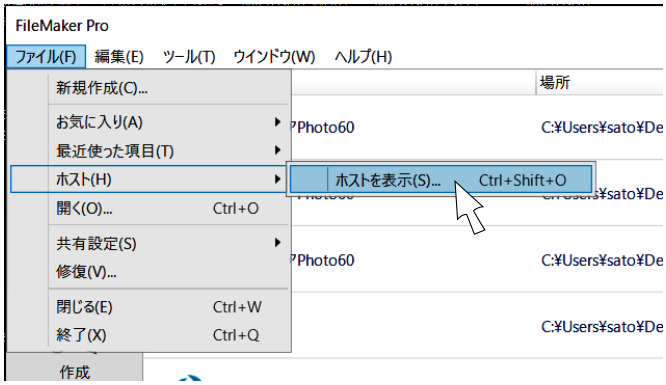
㊟《ウィステリアPro60》を共有設定にして，クライアントから直接開くのは**誤った使い方**です．ファイルが壊れる場合がありますので，**絶対にしない**でください．

クライアントの PC で「ウィステリア Photo60.fmp12」を開く

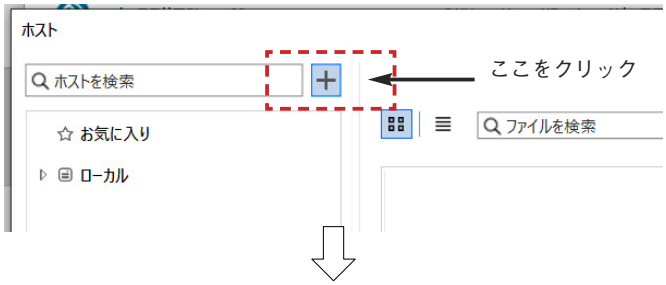
手順

LAN 環境にて，クライアントからウィステリアを開くには，FileMakerPro を起動し，上部メニューバーの「ファイル」→「ホスト」→「ホストを表示」を選択します.

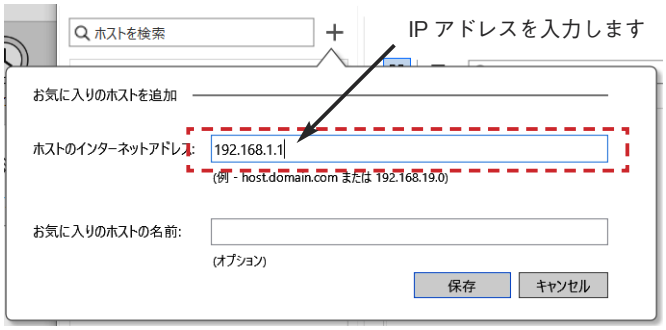
最初に開くときには，ホスト一覧に表示されない場合があります．その場合は，ホストを追加します



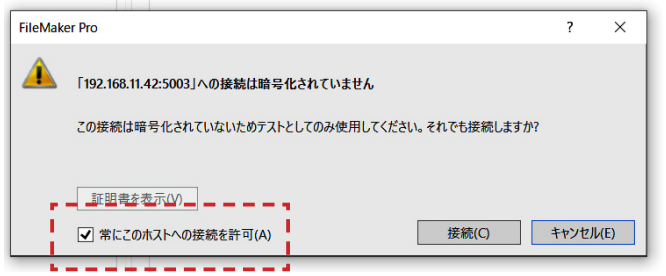
ホストを検索フィールド横の［+］をクリックすると「お気に入りのホストを追加」が表示されます.



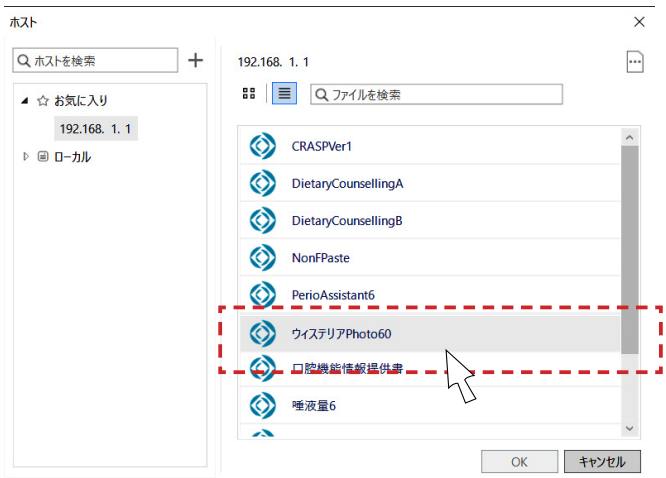
ホストのインターネットアドレス欄にホスト PC の IPアドレスを入力します.



FileMaker Pro を使用している場合は，暗号化されていない旨のダイアログがでますので，「常にこのホストへの接続を許可」にチェックを入れ，［接続］をクリックします(FileMaerServer 使用の場合には表示されません).

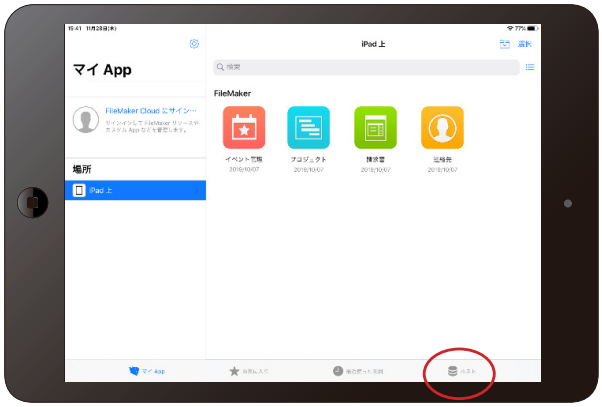


お気に入りに IPアドレスが追加され，一覧に《ウィステリア》のファイルが表示されますので「ウィステリア.fmp12」を選択して［OK］します．ウィステリアが開きます.



iPad（FileMaker Go）で「ウィステリア Photo60.fmp12」を開く

iPad で FileMaker Go をタップして起動し，下にある［ホスト］をタップします．



㊟ ご使用の FileMakerGo のバージョンによって画面は異なります．例は FileMaker Go19.

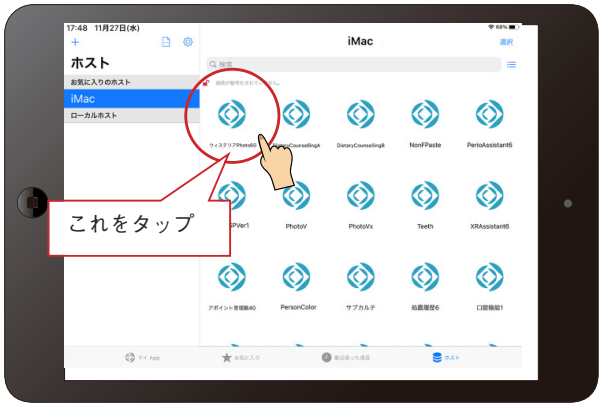
左側のリストにホスト名がない場合は，左上の「+」をタップします．



ホストを追加が表示されますので，ホスト PC の IP アドレスを入力し，［保存］をタップします．



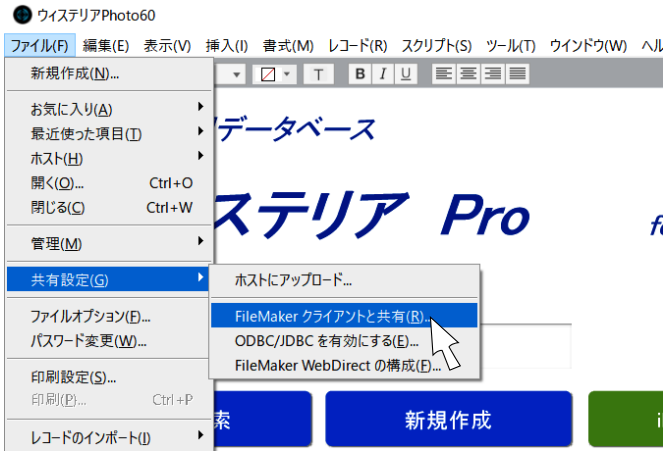
共有ファイルが表示されましたら，“ウィステリア Photo60.fmp12”をタップして開きます．



㊟ iPad で使用するためには，無線 LAN 環境が必要です．

ホストの IP アドレスが分からないときは…

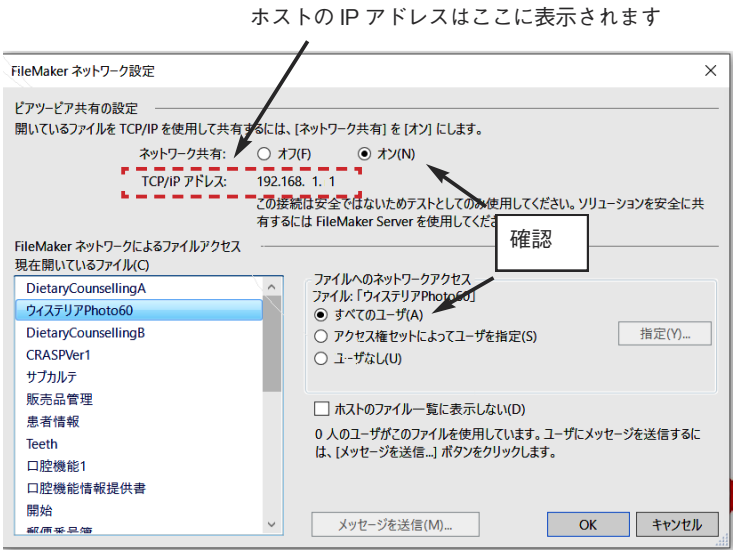
ホストの《ウィステリア Pro6.0》の上部メニューバーから「ファイル」→「共有設定」→「FileMaker クライアントと共有...」をクリックします.



FileMaker ネットワーク設定のダイアログが表示されます．その中程に TCP/IP アドレスが表示されますので，この数値を入力してください.

このとき，ネットワーク共有が「オン」，ネットワークアクセスが「すべてのユーザ」になっていることも確認します.

確認後［OK］をクリックしてダイアログを閉じます.

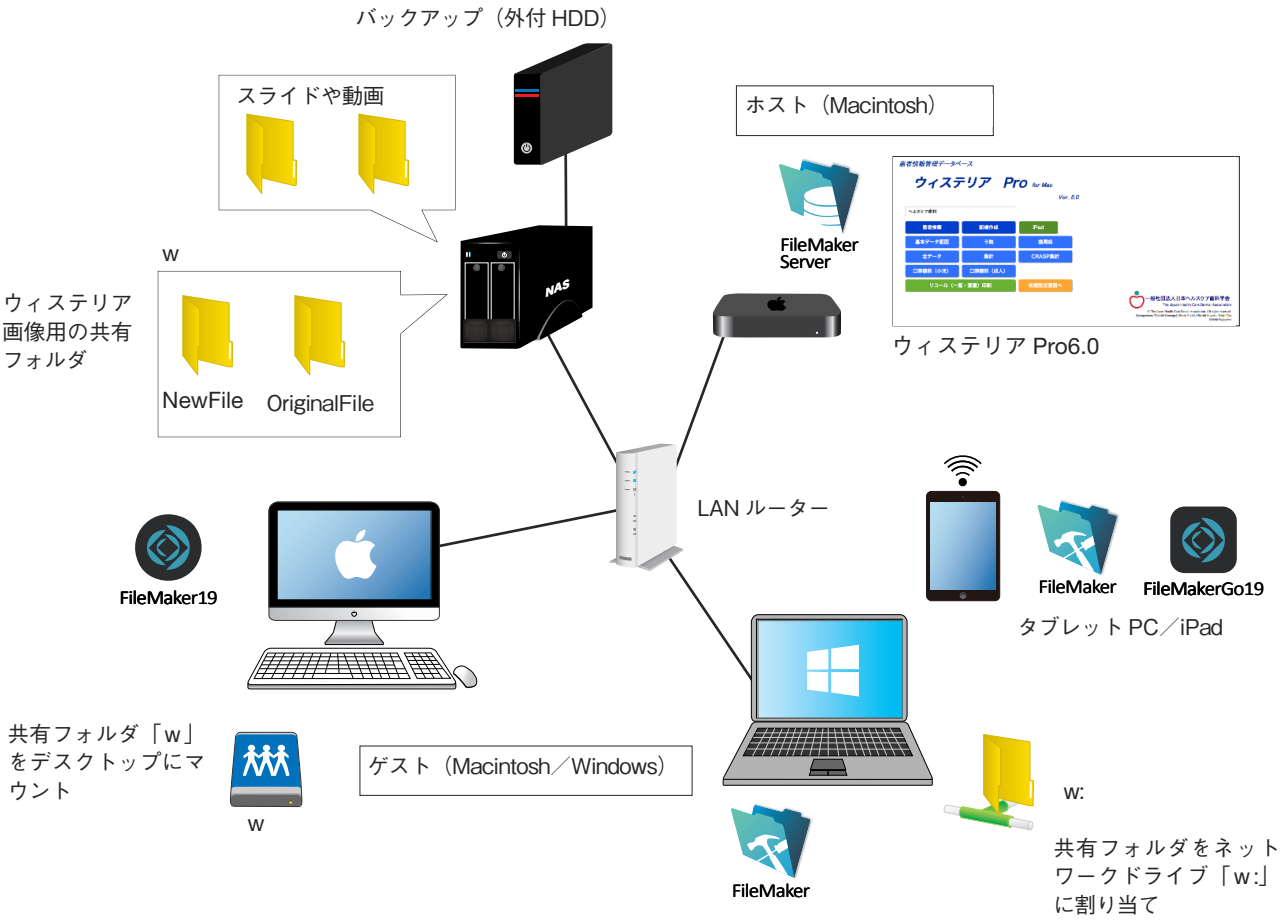


☆ ホストのパソコンのTCP/IPアドレスは固定にしておくことをお勧めします．詳細はご使用のルーター，パソコンのマニュアル等をご参照ください.

Windows／Mac 混在の LAN 環境での画像共有

OSを混在して画像を共有する場合，画像共有ボリュームの名前はアルファベット 1 文字（推奨：「W」）にしてください．（windows では共有ドライブをアルファベット 1 文字でしか認識できません）

参考；



注 「OrginalFile」「NewFile」の作成場所は，外付ハードディスク，NAS でも設定可能ですが，ご使用の環境によっては処理に時間がかかることがあります．

共有フォルダは windows からも mac からもアクセスできるように設定してください．

この模式図は参考例です．ご自身の使用環境に合わせて構築してください．ご使用の環境によっては写真表示できない場合があります．

メニュー画面

- 《ウィステリアPro6.0》を立ち上げるには，FileMaker Pro15-19 を起動し，「ファイル」→「開く」から“ウィステリアPhoto60.fmp12”を開きます．ホストとして起動する場合は，“開始.fmp12” を開くとすべてのファイルが開きます（FileMakerServer を使用する場合は除く）．LAN 環境でゲストから開く場合は，「ファイル」→「ホスト」→「ホストを表示→“ウィステリアPhoto60.fmp12”．
  ウィステリアが開くと下のメニュー画面が表示されます．［選択ボタン］が 12 個あります．作業の必要に応じてボタンをクリックします．
- 《ウィステリアPro6.0》は画面上では各項目（フィールド）に色を付けてあります．
  “水色のフィールド”または**“ピンクのフィールド”**は，該当する文字または数字を入力するフィールドです．
  “緑色のフィールド”は，そのフィールドをさわると選択項目［値の一覧］が表示されます（［ポップアップメニュー］といいます）ので，該当するものを選んでください．
  (注) ご使用の環境によっては，表示に数秒かかることがあります．
  “黄色のフィールド”は，上記のデータが入力されると自動的に計算されたものが表示されます．このフィールドは直接データを入力する必要はありません．
- 「iPad」(FileMakerGo）を活用しやすくなりました．



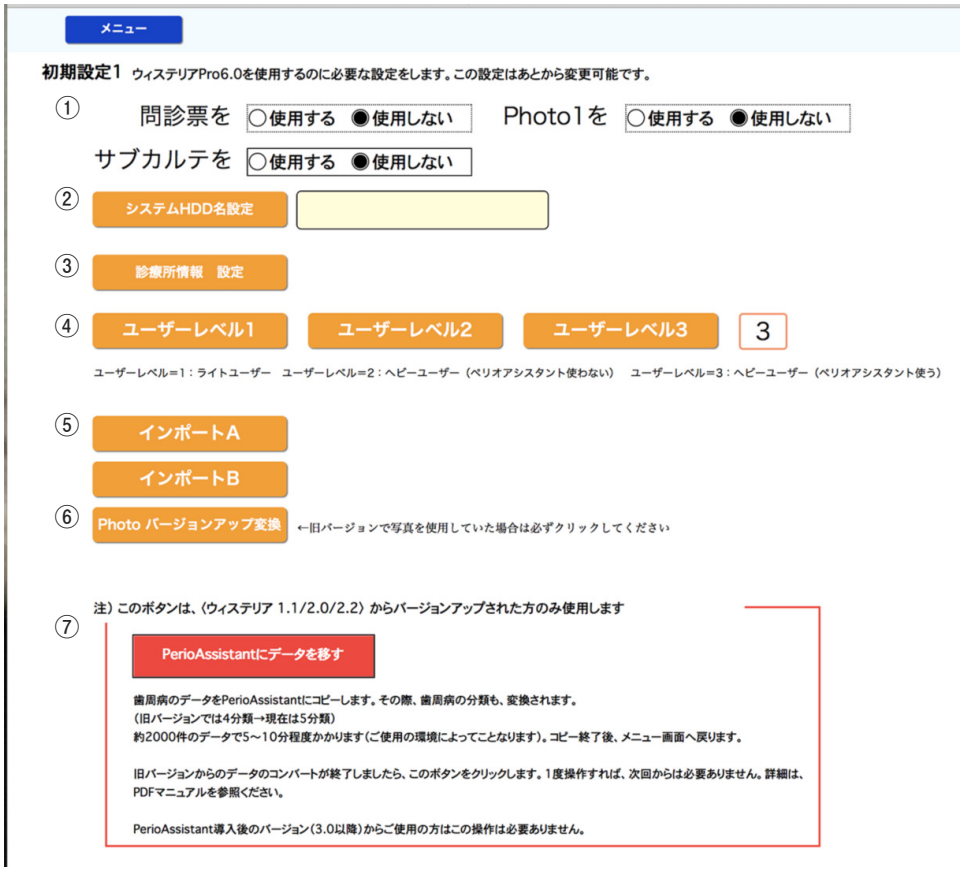
メニュー画面（パソコン）



メニュー画面（iPad）

0　初期設定画面

初期設定は以下のとおりです．設定はこの画面から後からも変更できます．



① 問診票・サブカルテ・Photo1　選択

ウィステリア 6.0 よりユーザー《問診票》《サブカルテ》が追加されました．使用する場合は，〈使用する〉をチェックをします．

ウィステリア旧バージョンでPhoto1 を使用していた場合は，Photo1 を〈使用する〉をチェックします．

② システム HDD 名設定

写真を取り込む際に使用するフォルダのパスを設定します．システムHDD名設定 をクリックするとハードディスク名を入力するダイアログが表示されますので，入力して［OK］します．このとき，“NewFile”と“OriginalFile”が作成されます（Windows のみ）．バージョンアップの場合は，旧データを移行したときに設定されます．



③ 診療所情報設定

診療所名，院長名，住所などを入力します．診療所名を入力するとメニュー画面に表示されます．ここで入力した住所等はハガキ印刷時にも利用できます．

④ ユーザーレベル

ユーザーレベルの設定ができるようになりました．初期設定はユーザーレベル 3 です．変更する場合は，希望するレベルのボタンをクリックします．ユーザーレベルは後から変更可能です，

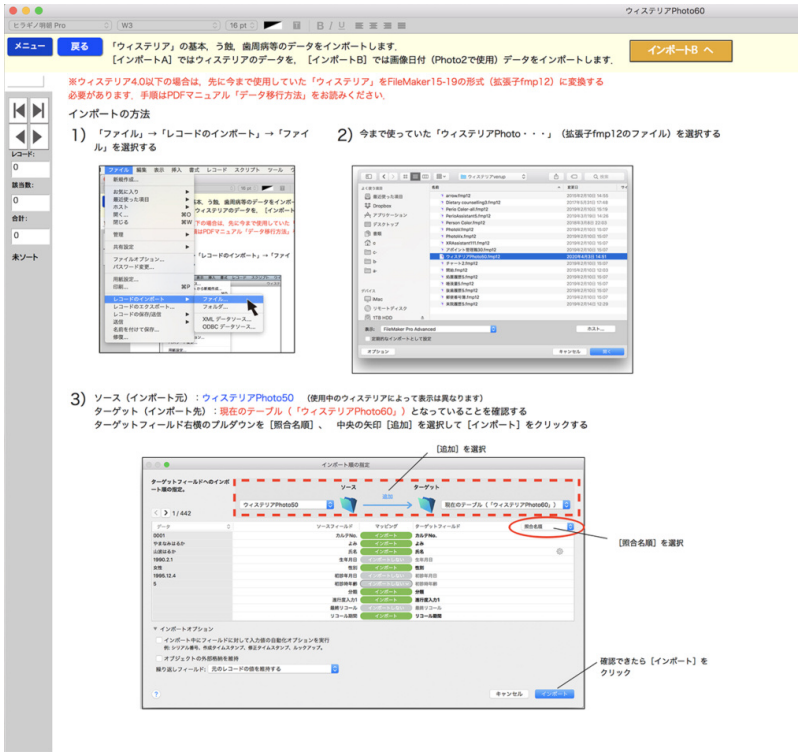
ユーザー 1：ライトユーザー（う蝕画面・歯周病画面を使用しない→データを 1 画面で表示）

ユーザー 2：ミドルユーザー（PerioAssistant で入力しない）

ユーザー 3：ヘビーユーザー（PerioAssistant を使って入力し，歯周病検査結果を詳細に記録する）

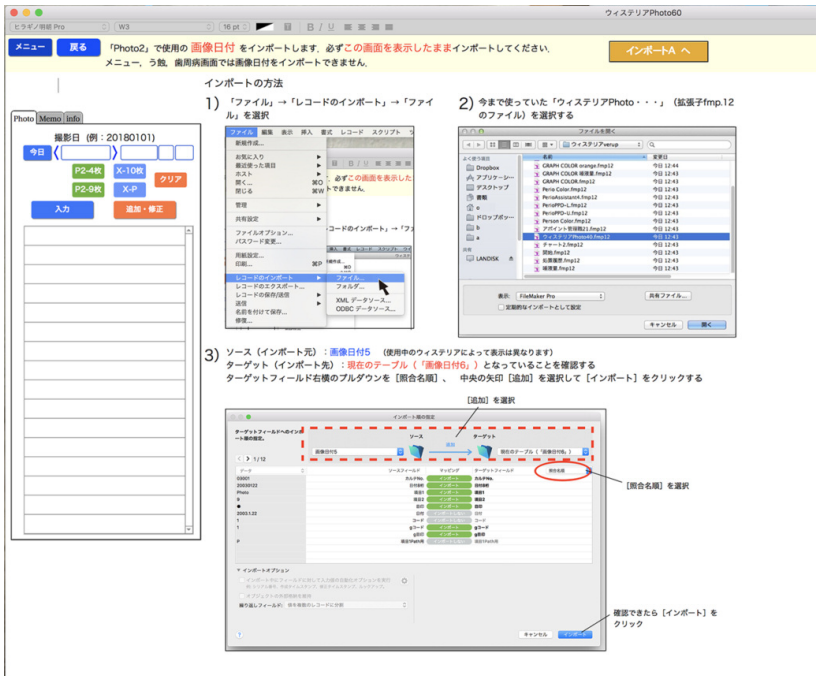
⑤ インポート A・インポート B

旧バージョンのウィステリアのデータをインポートします．データ移行の詳細な手順は「データ移行方法 v6.pdf」を参照ください．



旧ウィステリアで画像を使用していた場合は、インポート B 画面で画像日付をインポートします．

戻る ボタンをクリックすると初期設定画面に戻ります．



⑥ Photo バージョンアップ変換 ボタン

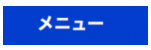
旧ウィステリアで写真表示を使用していた場合は，このボタンをクリックします．旧バージョンでは「Photo1（ウィステリア 3.xx 以下）」「Photo2（ウィステリア 4.0 以上）」に分かれていましたが，今回より一括表示になります．Photo1・Photo2 どちらか使用していた場合は，データ移行（インポート B）後，必ず一度「バージョンアップ変換」をしてください（新規の場合は不要です）．・



⑦ PerioAssistant にデータを移す

ウィステリア 2.2 以下よりバージョンアップされた場合は，このボタンをクリックします．歯周病のデータを PerioAssistant にコピーします．その際，歯周病の分類も変換されます．PerioAssistant 導入後のウィステリア（3.0 以上）からご使用の方はこの操作は不要です．



設定が完了したら，

ボタンでメニュー画面に戻ります．